

栃木医療センター 広報誌

No.
60

理 念
信 頼 貢 献 協 働



Contents

- 診療科紹介（リウマチ膠原病内科）…………… 1
- 地域医療連携講演会・意見交換会…………… 2
- 患者支援センターのご案内 …………… 3
- 検査説明センターの開設について…………… 4
- 面会制限の緩和とイートインスペースの利用再開について… 5
- 連携医紹介（本町内科クリニック）…………… 6
- マイナ保険証の登録はお済みですか？/交通のご案内…裏表紙

独立行政法人国立病院機構 栃木医療センター

診療科

紹介

リウマチ膠原病内科

リウマチ膠原病内科医長 花岡 亮輔

当科の取り組み

栃木医療センターでは、2025年度より「リウマチ膠原病内科」を新たに設立いたしました。関節リウマチや全身性エリテマトーデス、強皮症、皮膚筋炎など、膠原病と呼ばれる自己免疫性疾患は、全身にわたって炎症を引き起こし、多彩な症状と臓器障害を伴う難治性の病気です。

これまで県内では、こうした疾患に対して入院治療を提供できる施設が限られており、特に宇都宮市には専門的な診療科が存在しませんでした。当科では、外来診療に加えて、重症例や合併症を有する患者さんへの入院対応も可能な体制を整えています。現在は3名の専門医が在籍しており、関節エコーや各種自己抗体検査などを活用しながら、迅速かつ正確な診断と治療を提供しています。

薬物療法においては、必要最小限のステロイド使用と免疫抑制薬・生物学的製剤の併用により、副作用を抑えた治療を心がけています。症状が安定した患者さんには、地域のかかりつけ医の先生方と連携しながら、無理なく通院・治療が継続できる体制づくりを進めております。

当院リウマチ膠原病内科では、患者さんの生活の質を保ちながら、長期的な疾患管理をサポートすることを目指しています。診断が難しいケースや、治療方針に悩まれる場合など、お気軽にご紹介・ご相談いただければ幸いです。



| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 |
|------|---|---|---|---|---|
| 午前 | ● | ● | — | — | — |
| 午後 | ● | ● | — | ● | ● |

※初診の方は、月・火曜日（祝日・年末年始を除く）8:30～11:00の受付となります。

2025年度 NHO栃木医療センター 地域医療連携講演会・意見交換会

地域医療連携係長 佐藤 博子

7月10日（木）ホテル東日本宇都宮にて、NHO栃木医療センター地域医療連携講演会・意見交換会を開催いたしました。

参加総数：191名

院 外：119名

（医師：33名 看護職員：40名 コメディカル：46名）

院 内：72名

（医師：25名 看護職員：14名 コメディカル：33名）



4月から、栃木医療センターに3名のリウマチ膠原病内科医師が着任いたしました。そのご紹介と、地域の医療機関からもリウマチの診療に関する要望が多いことから、リウマチ膠原病内科の花岡医長より「全身疾患としての関節リウマチ～あるべき医療連携の姿～」と題し、慢性関節リウマチの症状、合併症、死因やそれらの診療における注意点についてご講演をいただきました。

とても興味がある内容で、アンケート結果でも、「リウマチの管理、増悪、合併症が分かりやすかった」「写真を使用していたのでとても分かりやすかった」「日常診療の参考になった」などのご意見をいただきました。

この度は、連携医療機関、訪問看護ステーションを始めとする多くの方々に参加いただき、心より感謝申し上げます。また、早くから事前申し込みをしていただきありがとうございます。連携医セミナーは、定期的な開催を考えております。今後も、病診連携・病病連携を強化するために、訪問活動を行って地域医療機関のご意見・ご要望を伺い、地域医療支援病院としての役割を果たせるよう、今以上に努力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

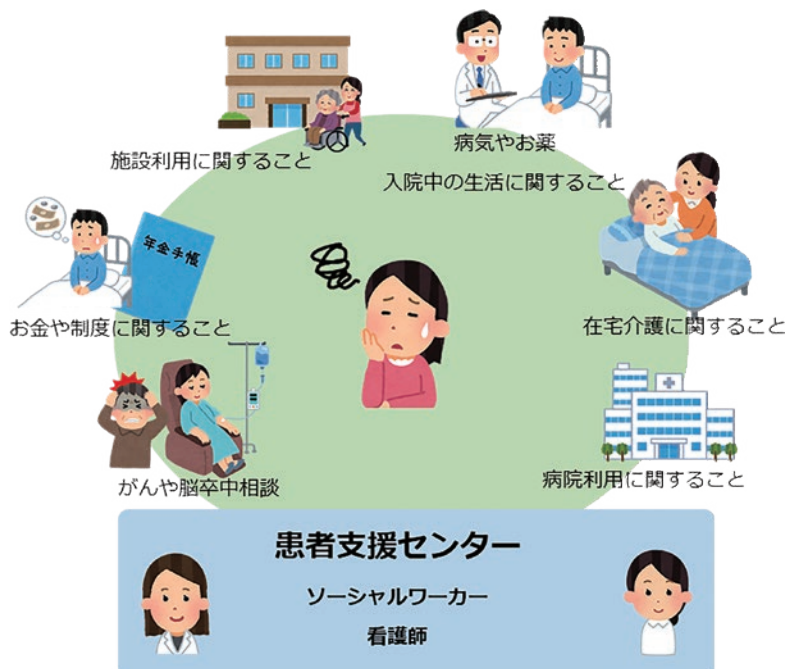


患者支援センターのご案内

ソーシャルワーカー 後藤 幸代

2025年6月の院内組織改編により、「総合相談室」は「患者支援センター」に生まれ変わりました。これまでも、当院をご利用されている方、またはご利用を考えている方の医療・介護・福祉等に関するさまざまなご相談に対応しておりましたが、支援が必要な方に適切な支援をこれまで以上にお届けできるよう努力してまいります。

患者さん・ご家族への相談支援は、当院のみでは完結しないことも多く、地域の医療機関、福祉機関、行政等のみなさまにもご協力をいただき、よりよい連携をはかりながら対応していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



宇都宮市医療・介護連携支援ステーション

宇都宮市では、市民のみなさまが医療と介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、在宅医療と介護サービスを一体的に提供する体制づくりに取り組んでいます。

当院は宇都宮市から「宇都宮市医療・介護連携支援ステーション」の委託を受け、医療・介護連携の際に必要な情報の提供や、医療・介護従事者の顔の見える関係づくりに向けた研修会の開催などを通して、地域の医療・介護連携をサポートしています。

医療・介護従事者のみなさまからの医療・介護に関するご相談をお受けしています。

月～金（祝日、年末年始を除く）8：30～17：00
電話：028-622-5241（病院代表）

検査説明センターの開設について

外来看護師長 小野瀬 仁美

当院は、地域の医療に貢献し、高度医療を提供する急性期病院として、1日に約400～500名の外来患者さんを受け入れています。診察・診断の中では、様々な検査が必要になります。患者さんが安心して安全に検査を受けられるよう、2025年4月に検査説明センターを開設しました。看護師2名とクラーク2名の職員で構成しており、造影CTやMRI、上部内視鏡、下部内視鏡などの説明やPET/CT検査の予約などを行っています。



検査が決まると医師から検査目的や実施方法について説明されますが、その場では理解できたつもりでも、後から疑問が出てくることがあります。そのため、検査説明センターでは、看護師やクラークが患者さんの理解度を確認しています。また、分かりやすい説明を心がけ、必要な時には医師に確認を行いながら、検査への不安が少しでも軽減できるようにしています。既往や服用している薬剤、アレルギー歴、患者さんの全身状態などを把握し、中止が必要な薬剤の説明や検査前後の食事の注意点など、個別性に応じた説明をしています。そして、より安全に検査が受けられるよう、医師や看護師、放射線技師などの多職種と患者さんから得た情報を共有しています。

これまでは、各診療科の外来で医師の診察後に検査の説明をしていましたが、検査説明センターが開設されたことで、より丁寧な説明ができるようになり、外来での待ち時間も改善されてきました。まだまだ開設して間もないですが、スタッフ一同患者さんの心に寄り添った支援ができるよう努めてまいります。ご不安なことがあれば、お気軽にお声がけください。



面会制限の緩和と イートインスペースの利用再開について

専門職 中嶋 武志

《面会制限の緩和》

新型コロナウイルス感染症の影響により日常生活で多くの制限がかかる中、感染対策の一環として、入院患者さんとの面会の制限をお願いしていました。新型コロナウイルス感染症が5類に変更されて以降、時間の経過とともに面会制限を緩和する病院が出てきたこともあり、当院においても、2025年7月14日から面会制限を緩和する運びとなりました。

これまでと大きく変わった点は、以下の通りです。

| 面会区分 | 変更前 | 変更後 |
|----------|------------|------------|
| 時間帯 | 15時から17時まで | 15時から19時まで |
| 1回あたりの時間 | 15分以内 | 30分程度 |
| 人数 | 原則2名まで | 制限なし |

※状況によって異なる運用となる場合もありますので、病棟スタッフの指示に従ってください。
また、感染症の流行状況に応じて、面会方法が変わることもありますのでご了承ください。

《イートインスペースの利用再開》

同じく感染対策の一環として、売店横のイートインスペースについても利用を制限していました。ただ、「待ち時間にゆっくり出来るスペースがない」「売店で購入した物を食べる場所がない」といったお声をいただいております。そこで、面会制限の緩和と同様に、イートインスペースの利用を再開することとしました。ご利用可能時間帯は、平日の9時から17時までとなります。飲食をされる場としてのほか、待ち時間などにもご利用いただきたいと思います。



今回の上記2点の見直しに限らず、引き続き患者さんやご家族にとってより良い医療環境を提供できるよう、取り組んでまいります。

連携医紹介



本町内科クリニック

院長

わたなべ
渡辺

ひでたか
秀考

旧今市市で開業する本町内科クリニックの渡辺と申します。

私は、今市生まれの宇都宮育ちです。獨協医科大学日光医療センターでの勤務を経て、2011年より今市にて開業しています。クリニックの建築中に大震災が起こり建物は無事でしたが、予定していた医療機器の調達等大変でした。クリニックは宇都宮から見ますと、新里街道の終点付近（今市側からみれば起点。日光市役所手前付近）にあります。

獨協医科大学病院に勤務していた時は、消化器内科の内視鏡グループに属していました。30歳位の頃は、当時ようやく大腸内視鏡検査が確立した頃で、（今振り返ると元気満々で）教授にお願いして、大腸内視鏡の挿入法や早期大腸癌診断の第一人者の工藤進英先生（当時秋田赤十字病院。その後昭和大学教授）に弟子入りしたりしていました。大学では、早期胃癌を内視鏡で切除する手技（早期胃癌粘膜下層剥離術）や拡大内視鏡を用い大腸の腫瘍の表面の模様（表面構造）を観察して良性か悪性かの判別、深達度診断（内視鏡で切除するか外科で手術するかの診断）などに従事していました。もっと若手のときは、胃酸分泌の臨床的評価（pHモニタリング）も行っていました。

当院では一般内科診療のほか消化器内科、特に胃・大腸内視鏡検査に力を入れており、両検査とも希望があれば鎮静剤を用い苦痛の少ない検査になるよう心がけています。そして、内視鏡切除の適応のある患者様の多くは、栃木医療センターで吉竹先生、小池先生をはじめ消化器内科の先生に治療していただき大変助けられています。さらに内科に限らず、小児科、外科をはじめ全診療科にお世話になっており、救急や時間外の診療も快く応じて頂き感謝の念に堪えません。患者様も栃木医療センターの診療に全幅の信頼を寄せて感謝しています。

今後も、栃木医療センターとの医療連携により地域医療に貢献していきたいと思います。



ご案内

<https://www.hontyonaika.jp/>

診療科目 内科・消化器内科・呼吸器内科・循環器内科・内視鏡内科

| 診療時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 日 |
|-----------------|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前 9:00 ~ 12:00 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | × |
| 午後 3:00 ~ 6:30 | ● | ● | × | ● | ● | △ | × |

※休診日：水曜日午後・日曜日・祝日

※土曜日午後は予約検査のみ。



〒321-1273 栃木県日光市吉沢239-9

TEL 0288-25-3120

マイナ保険証の登録はお済みですか？

2024年12月2日より、従来の健康保険証は新たに発行されなくなり、健康保険証を利用登録したマイナンバーカード（以下、「マイナ保険証」）の使用が原則となりました。当院でも専用端末を設置しています。従来の健康保険証は、有効期限まで最長1年間使用できますが、マイナ保険証を利用すると次のようなメリットがあります。

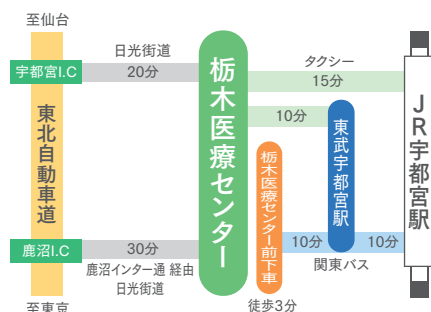
- ・過去に処方されたお薬の情報や特定健診の結果を、ご本人の同意があれば医師や薬剤師などが共有でき、正確なデータに基づく医療が受けられます。
- ・限度額適用認定証を提示しなくても、窓口で高額療養費制度の限度額を超えた額の一時的な支払が不要になります。

マイナ保険証を使う場合は、**事前に利用登録**をする必要があります。以下のサイトからスマートフォンやパソコン（ICカードリーダーが必要）で登録していただくほか、**当院でも登録することができます**。ご希望の方は、マイナンバーカードと暗証番号(数字4桁)をご用意のうえ、受付窓口までお申し出ください。



https://myna.go.jp/html/hokenshoriyou_top.html

交通のご案内



発行人

独立行政法人国立病院機構
栃木医療センター
院長 石原 雅行

〒320-8580

栃木県宇都宮市中戸祭1-10-37

TEL. 028-622-5241

FAX. 028-625-2718

URL. <https://tochigi.hosp.go.jp/>

